会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和５年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業（２）教職員の資質能力向上の推進① 効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第1回連絡調整会議 |
| 開催日時 | 令和5年10月13日（金）10:00～12:00 |
| 場所 | オンライン |
| 出席者 | 事業責任者：岡村　慎一　　　　　　　　　　　　　　　計1名委　　　員：成底　敏、泉田　優、松田　義弘、猪俣　昇、植上　一希、柳田　祐大、藤井　達也　　　計7名請負業者　：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　計1名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計9名 |
| 議題等 | 〇専門学校教員概論研修開発委員会（植上）・今年度は専門学校のキャリア形成モデルと支出能力モデルを作る。・新任教員研修に関する調査を実施する。・専門学校教員概論テキストと研修の枠組みを作成する。・サンプルテキストを作成する。・専門学校の調査およびTCE財団への調査を11月めどに実施する。・現在2回の委員会を実施している。・三菱総研が行っている調査などのデータを共有し、活用してモデル開発を行っていく。・YIC、KBC、TCE財団、福専各等について調査を実施している。【意見交換】・他の事業と調査で重複していることがあると思うので、その点に気を付けて調整をしてほしい。（岡村）・進捗的には、特段問題ない。スムーズな運営が行われていると感じている。（飯塚）・TCE財団で管理者研修を予定している。ここで全専研の取り組みも紹介する。（藤井）〇授業改善サポーター養成開発委員会（猪俣）・本年度は研修のプロトタイプを作成する。・今後は実証講座を実施する。・現在3か所のインタビュー調査を実施した。形式は対面とオンライン。・ICT活用研修の活用状況、コンサルティングの実施状況、研修開発への要望等も含めたインタビューとした。・大規模アンケートも実施を終了している。・授業コンサルティングは8割程度が実施しているようだが、その内容を裏打ちできてくればよいと思っている。・研修実施は、福岡で対面研修をした後に、リフレクションを2回行う予定としている。・1回目の研修に出た受講者がその後の2度のリフレクションを行うこととしている。・事前学習・事後学習が研修には加わる予定。・結果を基に次年度に向けたブラッシュアップしていく。【意見交換】・受講者の懸念があったが、既に福岡にて6名が参加できると聞いている。投稿からも3名程度は参加を予定している。実証として同一校がいくつか集まって行うことは問題ないのか？（岡村）・その内容は、確認していない。予定は12名でもさらに増やすことはできる。（猪俣）・授業改善は、重要だと考えているので人数が増加しても対応できるように考えている。（成底）・事前学習は、いつからできるのかを明確にしてほしい。（岡村）・福岡のリフレクションは対面で行うのか（飯塚）・講師に確認する。（猪俣）〇産学連携推進員養成講座開発委員会（柳田）・浦山学園能登委員がご退職されたため委員が1名原因している。・1回目は概要と共有、スケジュール確認を行った。・2回目は、現状把握のためのアンケート調査の案を作成し、現状は既に調査を終了している。・アンケートはグーグルフォームを作成し、内容を共有している。回答数は111件。工業と商業実務分野からの回答が多かった。・本年度は、産学連携推進員に必要な質と要件を明らかにすることとしている。・現状は、人材像を明確にした段階である。・11月中にインタビュー調査（対面2校、オンライン3校を予定）を実施している。・調査結果から工業と商業実務を対象とした研修とする予定。・満足度の高い調査結果を収集し、ケースを作っていく予定。・具体的な調査内容は、次回委員会にて決定する。・現状満足している学校と満足していないインタビュー対象としたい。工業系学校6校を想定している。・インタビュー項目については、学科長等を対象として、具体的な項目を設定していく。・10月19日に委員会があるので、そこで決定していきたい。【意見交換】・追加意見は、特段ない。（岡村）・専門学校にとって産学連携は重要なファクターになって来るので期待したい。（成底）・穴吹、有坂中央学園、宮崎総合学園は対面を予定したい。（柳田）〇教職員研修実施委員会（泉田）・FD・SD研修につては、既に募集定員に達しているので募集を終了し実施に向けた準備を進めている。・スケジュール等については、配布資料を参考にご覧ください。・職マネと自己点検・評価に関しては、現状内容を詰めているところである。・11月13日に委員会を開催するので、この時に職マネと自己点検・評価の委員会を決定したいと思っている。また成果報告会についても次回委員会にて実施する。【意見交換】・時間の校正やファシリテーションをどうするのか？（岡村）〇その他・それぞれの事業の報告ビデオを作成することになると思います。各委員会における概要や成果の報告を10分前後のビデオとして内容を取りまとめていただく予定です。2月20日頃を目途に作っていただきたい。（成底）・第2回委員会は、12月12日 |
| 配布資料 |  |

以上